

お寺の子ども会 西教寺進徳だより 日曜学校

西教寺蔵本通支坊 2011.9.11 呉市中央 7-7-13 TEL 21-2798 E-mail:nikkou@saikyoji.net

8月 夏休み合同子ども会

去る8月2日、蔵本通支坊で、安楽寺、西岸寺、明円寺合同で夏休み子ども会を行いました。

受付がすんだ子は、かき氷食べ放題。みんな何杯もおかわりして、色んなシロップを試していました。おつとめの後、ご法話のかわりに人形劇を見ました。今年は、NHKの人形劇でご活躍の安藤けいーさんにお越しいただきました。写真（中央）は「王さまとハトとタカ」の様子。慈悲深い王さまは、タカに追われたハトの生命を助けようと、飢えたタカに、ハトと同じ重さだけの肉を、自分の身体の肉を切り取って渡そうとします。しかし、腕を切り取り、足を切り取っても秤（はかり）は、びくとも動きませ



ん。はっと気づいた王さまは、秤に乗ってみます。すると、秤はゆっくりと動き、びたっと釣り合ったのです。そうです。「いのちの重さはみな同じ」なのです。先日、ホテルで食事をされている方を見てみると、何十人もいましたが、なんと誰一人として合掌もせず、いただきますも言わずに食べていました。私たち現代日本人は、大切なことを忘れていないのでしょうか？

「王さまとハトとタカ」は記念すべき初演ということで、『本願寺新報』さんも取材に来ておられました。

劇の後は、分かち合い。ストーリーをおさらいして、このお話が言いたかったこと、それを見た感想を聞きました。

その後は、長岡先生（西岸寺）によるゲーム。2チームに分かれて競争。各チーム審判のところまで走って行って「よろしくお願いします」と土下座。審判とじゃんけんして勝ったら、走って帰って次の人にバトンタッチ。あいさつがちゃんとできなかつたら、審判に「帰れ！」と言われ、スタートにもどって同じチームの仲間に「ごめんなさい」と土下座してもう一度。私は、「これはただの子どもの遊びではなくて、私たち大人の社会にこそ大切なことだなあ、と感じました。テレビゲームばかりしては分からない、身につかないことですね。この子らは、そのことを知るご縁があってよかったなあとしみじみと感じました。

楽しく遊びながら、大切なことを学んだ一日でした。保護者の皆さん、この一日だけでなく、食事の合掌とごあいさつ。ご家庭でも引き続き教えてやって下さいね。



次回は、10月9日（日）9時～10時です。